

<薔薇の伝説・王妃イザベル物語>

あらすじ

時は13世紀のヨーロッパ。現在のスペイン北部に位置したアラガオ王国に産まれたイザベル王女。やんちゃながらも、すくすくと、心優しく敬虔深く、大変美しい姫に育ちました。王家は政略結婚の最中にあり、数々の王子がこの王女の婚候補として名のりをあげました。

さて王様と王妃様は、王子たちにどんな才能や能力があるのか知るべく、王室にて盛大なコンテストを開きます。それを勝ち抜いたのは、なんとポルトガル王国のドン・デニス王。若きこの王は政治や貿易にも強く、コインブラに大学も設立し、また詩人としても活躍しておりました。

このドン・デニスに嫁いだイザベル。彼女の将来は幸せを約束されたも同然に見えましたが、現実のポルトガル王国では波瀾万丈な人生がイザベルを待ち受けていたのです。

イザベル王妃歴史的背景と作品紹介

貧しい人々を救う為に最善を尽くしたと知られるこの王妃は、ポルトガル第三の都市コインブラにサンタクララ修道院を再築し、数々の奇跡を起こした人物として知られています。そのひとつが劇中で登場する薔薇の伝説です。没後にはローマ教会から聖人の称号を与えられ、人々からはサンタ（聖人）イザベルとして今なお人々の信仰の対象となっています。ポルトガル国内に存在する、彼女にまつわる遺跡も影絵の中で紹介しています。

この作品は、イザベル王妃についての実際の歴史の記述や伝説を題材に、ファンタジーを盛り込んだオリジナル創作物語です。また、中世のカンティコスと呼ばれるデニス王の詩の一作を、アコーディオンの引き語りにて劇中で紹介いたします。ピアノ演奏で奏でられる影絵物語をお楽しみください。